

## 広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	切除可能膵癌における腫瘍マーカーの臨床的意義
研究責任者 (所属科名)	小橋俊彦 (肝胆膵外科)
本研究の目的・意義	膵癌での切除能の判断や予後予測、治療効果モニタリングにおいて、carbohydrate antigen 19-9(CA19-9)は重要な腫瘍マーカーのひとつです。CA19-9は膵癌集学的治療時代における術前治療効果判定に有用なマーカーとして多く報告されており、その治療効果判定カットオフ値については様々な議論がされていますが、CA19-9は測定試薬やその測定条件により数値の乖離が生じることがあります。今回は当院の膵癌症例で、治療効果判定・予後予測因子としての腫瘍マーカーの役割について調査することとしました。
調査方法・調査期間	当院で膵癌に対し根治切除術を施行した臨床病理学的特徴と治療成績、腫瘍学的転帰について、電子カルテデータより後ろ向きに、2010年1月から2024年12月までの膵癌症例を検討しました。
該当資料・データ	★対象となる患者様 対象期間に治療を行った202名の方が対象です。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録から手術方法や、検査データ等を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 肝胆膵外科 部長 中川直哉
備考	